

平成25年度尚志館高等学校自己評価表

学校教育基本方針	校訓『不屈不撓』の精神をバックボーンに、豊かな資質を養い、国や社会に貢献できる人間を育成する。
学校教育目標	志を常に高く持ち、自ら学ぶ態度を養う。よき友を作り、生きる力を身につけ、国や社会に貢献できる人間を育成する。
重点努力目標	①将来、役に立つ人材を目指す生徒指導。②尚志館に来てよかったと思われる進路指導。③勉強や部活動など、やりたいことを思い切りやれる学校。

1 学校経営 全職員が共通の理念に立った学校経営の参画における教育的効果の評価

評価項目	具体項目	目 標	具体的方策	総括	成果と課題
学校教育目標と経営方針	学校教育目標の具現化	教職員間の共通理解のもとに、教育目標の実現を図る。	課題や生徒の実態をふまえた目標を設定し、具現化に努める。	3.8	教職員の共通理解が図れていると考えている職員と、容儀服装などの指導について、共通理解が不十分ととらえている職員がみられ、温度差がある。生徒指導にあたって共通理解・共通実践は大切であり、今後職員研修等により共通理解を図っていききたい。

2 教育活動全般における計画的、組織的な教育的成果の評価

評価項目	具体項目	目 標	具体的方策	総括	成果と課題
学級経営	学級目標の具現化	学級目標に沿った学級作りを行う	学校目標や学級実態に応じた学級経営・ホームルーム活動を行う。	3.5	学級目標を明確にすることで、クラスがまとまって団結力があつたというクラスがあつた一方、基本的な生活習慣が身につけていない生徒が多くて、時間がかかったが改善できてきたというクラスもあつた。
教科指導	わかる授業展開と工夫改善	創意工夫された学習指導の実践	シラバスを作成し、学習目的や学習方法を生徒に説明する。	3.5	どのクラスも上位と下位の生徒との学力差が大きくなっており、授業の展開に苦労がある。学力の低い生徒達へは、指導の仕方を工夫したり、個別指導を徹底するなどしている。研修に参加したことでスキルアップができ、授業に生かしてよかった。視聴覚機器を利用することでイメージ化が図られて指導の強化につながった。
			効果的な授業を行うために研究や研修を深める。		
特別活動	生徒会活動・学校行事の充実	生徒会活動の充実	生徒の自主性・自発性を促し、積極的に生徒会活動に参加させる。	3.6	生徒主体・生徒主導で生徒会活動は実施できている。しかし、生徒会全体の結束はまだ不十分である。一生懸命な生徒とそうでない生徒に分けられる。また、活動としては行事運営が中心であり、もっと朝の挨拶運動や清掃などへの取り組みも考えていきたい。
		学校行事の充実	効果的な学校行事になるよう、常に見直しを行い、活動内容を工夫する。		
生徒指導	基本的な生活習慣の確立	生徒各自に尚志館生としての意識を持たせ、自信と誇りの持てる生徒に育てる。	基本的な生活の確立を図る 交通ルールの遵守など、安全教育の徹底	3.4	服装の乱れより、髪の毛の乱れが3学期になって目立ってきた。男子生徒の長さや女子生徒の色について、もっとしっかり指導していく必要がある。欠席や遅刻については、担任だけでは指導できない。保護者との連携が必要。基本的な生活習慣が身につけていない生徒が増えており、指導に苦労することが多かったが、科や他の教師との連携により指導がうまくいった。
進路指導	進路指導の充実	系統的・計画的な進路指導	進路実現のために、個別指導や進路相談・三者面談などを計画的に行う。 生徒の能力や適性に合った進学指導 生徒の能力や適性に合った就職指導	3.6	全体としては科と担任・副担任と連携して進路指導ができているが、担任に大きな負担がかかって、副担任がうまく機能していない部分があり今後改善したい。普通科からセンター試験を受験する生徒がいたため、早い段階で対策を始めた結果、見事に公立大学に合格できた。今後も早めの対策を考えていきたい。
保健衛生	心と身体の健康に留意させ学習環境を整える	保健指導	心と身体の健康を適切に管理する能力を育てる	3.4	養護教諭の発行する保健便りにより、生徒の健康に対する意識を常に持たせることができた。ただ、保護者によっては過保護の傾向にあり、欠席を少なくすることはできなかった。新校舎の工事により花壇がなくなったが、プランタの設置によって、校内が明るくなるように努めた。また、作業についても少しずつ良くなってきている。
		体育指導	運動技能を高め、体力向上を図る		
		防火・防災	防災についての意識の高揚を図る		
		環境衛生	学習にふさわしい環境を整える		
広 報	広報活動の推進	定員確保のための広報活動の推進	入学案内・パンフレットの作成	4.0	定員確保を目標に掲げて、中学校での説明会への参加はもちろん、体験入学や進学説明会・塾訪問、そして中学生やその保護者の訪問受け入れなど積極的に活動した。また、ホームページの管理についても若手職員の頑張りや、見やすいものができて好評であった。これらの活動の結果が、定員を上回る入学者につながったものと思われる。
			中高連絡会・体験入学の実施		
			中学校訪問・学習塾訪問・説明会の実施		
			ホームページ・Eメールの管理		
			P T A・中学生の訪問受け入れ		
部活動	部活動の活性化	部活動への参加を奨励し、活発な活動を行う	部活動への積極的参加を奨励し、学習との両立を図る 活動を通して、コミュニケーション力を高め、たくましい人間に育てる	4.0	センバツに出場した野球部、そして県選手権大会準優勝のサッカー部に代表されるように、各部とも競い合っ、好結果が出た。今後、少子化の中で、技術面の優れた部員確保が課題である。また、部活入部率が低いことや、部員の確保に苦労している部活もあり、今後対策を講じていかなければならない。
評 価				3.6	

